

# 房総の 文化財

VOL.66

## 【遺跡メモリアルシリーズ】

- ◆ ネズミがかじった立花・石製模造品 一千葉市 東寺山石神2号墳（古墳時代）一
- ◆ 下総国分寺付属の工場地帯と河川祭祀 一市川市 北下遺跡（奈良・平安時代）一
- ◆ 戦国時代の大規模城郭 一木更津市 笹子城跡（中世）一

## 【出土遺物公開事業】

- ◆ 令和7年度の報告「地中からのメッセージ～古墳・古代・中近世～  
一千葉県教育振興財団設立50周年記念展 part 2一」
- ◆ 令和8年度の予告「酒々井南部地区の遺跡展」

## 【財団設立50周年記念事業】

- ◆ 「掘る女」上映会&トークショー

人面墨書土器  
(市川市北下遺跡)

# 「遺跡メモリアルシリーズ 古墳・古代・中世」

## 4 古墳時代 ネズミがかじった立花・石製模造品

### —千葉県東寺山石神2号墳—



▲石神2号墳出土 かじられた痕跡のある立花

東寺山石神遺跡は千葉市若葉区東寺山町の東京湾に注ぐ都川下流に合流する葭川の台地縁辺部に位置します。当遺跡は1975年に発掘調査を実施しており、古墳5基・竪穴住居跡3軒が見つかりました。特に遺存状態が良かったのが古墳時代中期の東寺山石神2号墳です。東寺山石神2号墳は直径25mほどの円墳で、墳頂部に割竹形木棺が設置されてい

ます。その木棺内部から石枕2点と付属品である立花をはじめとする各種の石製品・鉄製品が出土しています。

石枕は古墳時代中期に常総地域(茨城県南部・千葉県北部)を中心に埋葬されており、現在全国で120例ほど確認されています。その半数が千葉県内から発見されており、石神2号墳出土の石枕も代表例といえます。

さらに特筆すべき点として、立花や刀子形石製模造品に製作時の調整痕とは異なるキズが確認されている点です。このキズを分析した結果、クマネズミがかじった痕跡であると判明しました。クマネズミは地中で生息しないため、この痕跡は石製品等が製作した後、すぐに埋葬したものではなく被葬者とともに一定期間埋葬施設とは別の場所に安置していたと想定されます。これは『日本書紀』等の文献に記載している「殯」(モガリ)儀礼を示すものと想定されており、文献史料の内容を考古学の観点から言及した希少な事例です。(倉橋裕真)

## 5 奈良・平安時代 下総国分寺付属の工場地帯と河川祭祀

### —市川市北下遺跡—



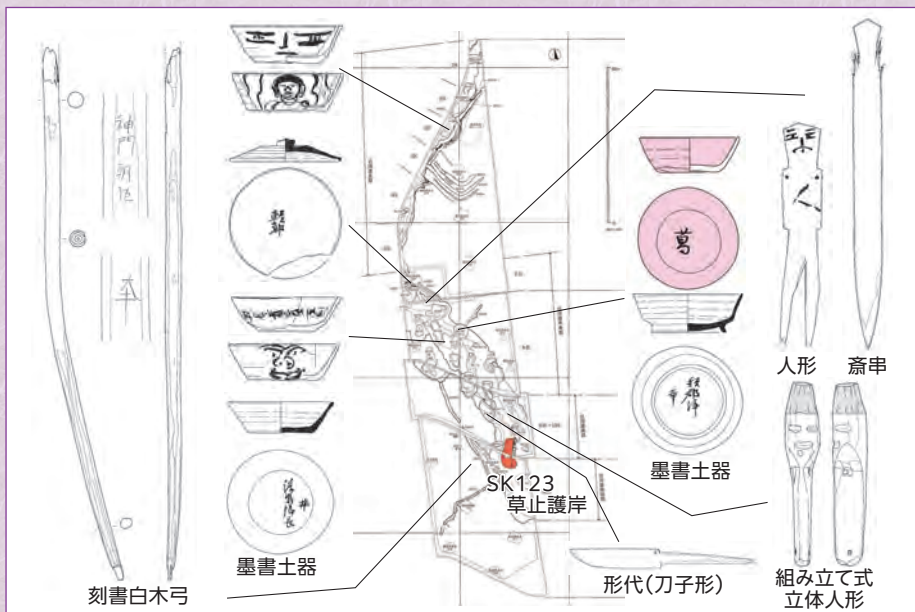
市川市北下遺跡は国分台地の東側縁辺から国分川沿いに位置します。東京外かく環状道路の建設に伴い発掘調査が実施されました。西側の台地上には、天平13(741)年発布の国分寺建立の詔によって造営された下総国分二寺が、またさらに西側の国府台台地上には、下総国府の所在が推定されています。

調査の結果、創建期より国分寺へ瓦を供給する窯跡や、梵鐘をはじめとする鑄造関連遺構などが複数見つかりました。窯跡は、登窯と平窯を併用しており、大規模な生産体制が整えられていました。ここで生産される軒丸瓦の文様は宝相華文と呼ばれ、唐にルーツを持つ特殊な文様としても知られています。まさにこの地は工場地帯として国分寺の造営を支えていたのでしょう。

◀北下遺跡 SO003 瓦窯跡(平窯)

他にも、人面墨書土器や斎串、人形、形代といった水辺の祭祀に関する遺物や、律令国家に関する墨書土器、刻字をもつ白木弓などの遺物が出土していることから官人たちの祭祀の場としての一面もうかがえます。土器の年代から8世紀後半から10世紀にかけて長期間維持管理されていたことが分かっています。(松田青空)

他にも、人面墨書土器や斎串、人形、形代といった水辺の祭祀に関する遺物や、律令国家に関する墨書土器、刻字をもつ白木弓などの遺物が出土していることから官人たちの祭祀の場としての一面もうかがえます。土器の年代から8世紀後半から10世紀にかけて長期間維持管理されていたことが分かっています。(松田青空)



◀北下遺跡 河川祭祀関連遺物 出土地点



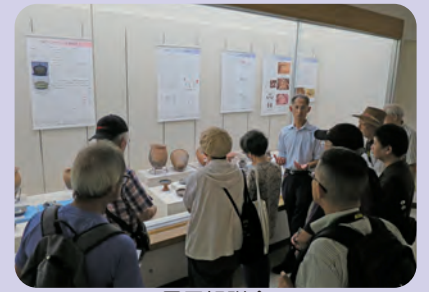
## 令和7年度出土遺物公開事業を開催しました

### 【地中からのメッセージ—古墳・古代・中近世—】

当財団の設立50周年記念展part2—古墳・古代・中近世—を、千葉県立房総のむら風土記の丘資料館と千葉県立中央博物館の2館で開催しました。

古墳時代は、房総で特徴的な埴輪が出土している3古墳9個体の人物埴輪・形象埴輪、古代は房総から日本でもっとも数多く出土している墨書土器を中心に、中近世は城跡出土遺物、大量埋蔵銭などの遺構・遺物を展示しました。

関連行事として、展示解説会、古代組紐づくりのワークショップ、講演会を開催しました。



展示解説会



講演会



ワークショップ

## 財団設立50周年記念行事

### 「掘る女」上映会&トークショー

当財団の主な活動である発掘調査、考古学の魅力を身近に感じていただくため、映画「掘る女」の上映会を、令和8年1月18日(日)に四街道市文化センターで実施しました。上映会の後には、主演された大竹幸恵さんをお迎えして、トークショーも行いました。映画を見た方からは、「豊かな気持ちになった」、「とても楽しく勉強になった」などの感想をいただきました。491人ものお客様をお迎えでき、大盛況の中で終わることができました。



## 予告 令和8年度出土遺物公開事業「酒々井南部地区の遺跡展」

当財団は、平成6年度から平成25年度に酒々井南部の土地区画整理事業に伴う発掘調査を行いました。主に縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代のムラの跡が見つかりました。各時代の特徴を挙げると、縄文時代は「地形を利用した環状集落」、古墳時代は「謎の蛇行剣」、奈良・平安時代は「都とつながる在地開発(初期荘園)」となります。期間中には、展示解説会・ワークショップ・講演会などを予定しています。



飯積上台1号墳出土 蛇行剣



飯積原山遺跡出土 土偶



上…飯積原山遺跡 建物群  
下…飯積原山遺跡出土 人面ヘラ描き土製支脚



### 開催館と会期

酒々井町中央公民館  
令和8年8月1日(土)~8月23日(日)  
千葉県立中央博物館  
令和9年1月9日(土)~2月14日(日)

### 展示解説会

酒々井町中央公民館  
令和8年8月8日(土)  
千葉県立中央博物館  
令和9年1月10日(日)・1月30日(土)

### 講座

酒々井町中央公民館  
令和8年8月16日(日)

### ワークショップ

酒々井町中央公民館  
令和8年8月2日(日)  
千葉県立中央博物館  
令和9年1月16日(土)

### 講演会

千葉県立中央博物館  
令和9年2月7日(日)